

がつ じゅうてんこんだて
【9月の重点献立】

つきみこんだて お月見献立

れいわ ねん がつ
令和8年9月

いちのせきしせい ぶだいにがっこうきゅうしよく
一関市西部第二学校 給食センター

じゅうごや じゅうさんや はなし
～ 十五夜と十三夜のお話 ～

ねん まんげつ なか おかし うつく きゅうれき がつ にち ちゅうしゅう めいげつ じゅうごや
1年の満月の中でも、昔からとても美しいとされてきた旧暦8月15日の「中秋の名月」は、とくに「十五夜」
ともよばれます。もともとは中国から伝わった行事で、月の美しさを愛でながら、秋の収穫物をお供えしてお祝
いをします。

ことし じゅうごや がつ にち きゅうしよく がつ にち つきみこんだて と い にほん
今年の「十五夜」は9月25日ですが、給食では9月28日に「お月見献立」を取り入れます。日本では、
「十五夜」からひと月ほど後の「十三夜（今年は10月23日）」にもお月見をする風習があり、両方合わせてお
つきみ えんぎ よ
月見をすると縁起が良いといわれています。



べつめい いもめいげつ
別名で「芋名月」
ともいいます。

じゅうごや ぎょうじしよく 十五夜の行事食

つきみだんご 月見団子



こめ つく だんご
米から作られる団子で
す。まんげつ み た まる
満月に見立てた丸い
かたち さといも かたち
形のほか、里芋の形な
どもあり、地域によって
ちが
違いがあります。

きぬかつぎ



さといも かわつ
里芋を皮付きでゆでたり蒸したり
したものです。へいあんじだい じよせい
平安時代の女性の
ふくそう
服装にちなんで、
よ
こう呼ばれます。



じゅうさんや あき しゅうかく かんしゃ くり まめ しゅうかく じ き しゅん
「十三夜」は、秋の収穫に感謝しながら、栗や豆が収穫できる時期であり、旬のものを
そな つきみ まめめいげつ くりめいげつ よ
お供えしてお月見をしたことから、「豆名月」「栗名月」とも呼ばれています。

